

スイッチングハブ APRESIA シリーズ用電源ユニット PSU-200-DC48V-E、PSU-200-DC48V-ER 取扱説明書

安全にお取り扱いいただくために

安全に関する共通的な注意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。


本製品は、医療機器や兵器システムの制御など、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途に使用されるよう設計・製造されたものではありません。そのような用途には使用しないで下さい。


操作は、本書内の指示、手順に従い、本装置や本書に表示されている注意事項は必ず守ってください。また、本書に記載されている以外の操作や動作は行わないでください。これを怠ると、人身上の傷害や機器または装置の破損を引き起こす恐れがあります。

本装置や本書に記載されている内容について何か問題がある場合は、お買い求め先にご連絡ください。

本装置や本書に表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。作業にあたっては、単に指示に従うだけでなく常に自分自身でも注意するようにしてください。

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって示されます。これは「警告」および「注意」という見出し語と注意シンボルを組み合わせたものです。

 **警告**：この表示は、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。

 **注意**：この表示は、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こす恐れのある、潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。

警告

カバーを開けない・改造しない

本ユニットのカバーは絶対開けないでください。また、本ユニットを改造しないでください。感電する恐れがあります。また、故障の原因となります。本ユニットには、お客様の取り替える部品はありません。

異物を入れない

本装置の通風孔などから内部にピンなどの金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の恐れがあります。万一、本装置に異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。

水に濡らさない

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、薬品、水の入った容器などを置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電、故障の原因になります。万一、水などが本装置の内部に入った場合は、まず電源を切ってからお買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。

電源ケーブルに傷を付けない

電源ケーブルの傷、加工、引っ張り等が原因により電源ケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。電源ケーブルが傷んだときは、すぐに電源を切って、お買い求めの販売店もしくは販売元に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

破損したときは電源を投入しない

万一、本機を落としたり、破損したりした場合、電源を切って、お買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

異常な時は使わない

万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常があった場合、火災や感電の原因となりますので使用を継続しないでください。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店もしくは販売元に修理を依頼してください。お客様による修理は、危険のため、絶対にお止めください。

指定外の電源ケーブルを使わない

指定外の電源ケーブルは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

- ・DC 電源ユニットの場合： AWG18 以上

指定外の電源電圧では使用しない

指定外の電源電圧では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。

- ・DC 電源ユニット：DC-57 V～-40 V (-48V typ.)

DC 電源の端子台カバーを取り外したまま使用しない

DC 電源ユニットの端子台カバー(透明、プラスチック製)を取り外したままの状態で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

濡れた手で端子に触れない

濡れた手で接続端子に触れないでください。感電の原因となります。



DC 電源ケーブル配線時はブレーカを落とす

DC 電源ケーブル接続の際は必ずブレーカやスイッチ等により、供給電源側の電源を切ってから作業してください。火災や感電、故障の原因となります。

DC 電源ケーブル配線時は電源ユニットのスイッチを切る

電源ケーブルの接続は、必ず DC 電源ユニットの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。また、通電した状態の DC 電源ユニットを本体に装着したり、取り外したりしないでください。作業者が感電する恐れがあります。また、本体や、お客様の配電設備、その他の装置の故障の原因となります。

電源ケーブルはしっかり接続する

電源ケーブルの接続は、筐体正面の表示「」(筐体のフレームグランド)「0V」「-48V」に従って、正しくしっかりと接続してください。接続を誤ると電源が故障します。「」「0V」「-48V」端子が接触すると装置内部の電源が故障するだけでなく、火災や感電の原因となります。

端子の掃除をする

電源の端子、端子台にほこりが付着していないことを確認してから接続してください。ほこりが付着していると、火災や感電の原因となります。

電源ケーブルの上に物を載せない

電源ケーブルの上に物を載せないでください。ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。

雷発生時には装置に触らない

雷発生時には通信ケーブルの接続作業などで装置に触らないでください。雷発生時に装置に触ると感電の原因となります。

使わないときは電源を切る

夏期休暇など長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず供給電源を切るようにしてください。使用していないときも通電しているため、火災の原因となります。

移動時はケーブルをはずす

移動させる場合は、必ず電源ケーブルを外したことを確認した上で行ってください。電源ケーブルに引っ掛かってつまずいたり物が落下するなどしてケガの原因となります。

環境の悪い所に置かない

下記のような環境では、本製品を保管、使用しないでください。本製品の寿命を縮めたり、故障の原因となります。

- ・電車などの車両への搭載
- ・振動が連続する場所
- ・屋外環境
- ・温泉地など腐食性ガスの発生する環境
- ・結露が発生する環境
- ・発熱機器の近く
- ・直射日光が当たる場所
- ・機器同士が密接する環境
- ・塩害地域（海岸の近くなど）
- ・殺虫剤や消毒剤など薬液のかかる可能性のある環境
- ・装置および装置周辺に埃がたまりやすい環境

適用製品以外では使用しない

適用製品以外に搭載し使用しないでください。また、未搭載状態での通電はしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

風を妨げない

通風孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い所に置いたり、物を置いたり立てかけたりして通風孔を塞がないでください。内部の温度が上昇すると故障や火災の原因となります。

運搬について

本製品を運搬する際は、落下・転倒しないように十分気をつけてください。本製品が故障したり、ケガの原因となります。

廃棄について

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

譲渡について

本製品を譲渡する際は、本資料のご注意事項も添付して譲渡してください。

1. ご使用の前に

本取扱説明書は表 1 に示す電源ユニットの取り付け・運用方法について記載しています。

表 1 対象ユニット

ユニット品名	ユニット型名	適用製品
DC 電源ユニット (公称電圧 DC-57 ~ -40VDC)	PSU-200-DC48V-E	標準仕様書参照
DC 電源ユニット (公称電圧 DC-57 ~ -40VDC)	PSU-200-DC48V-ER	標準仕様書参照

⚠ 注意

電源ユニットを挿入する前に、適用製品であること、使用可能な電源ユニット同士の組合せであることを確認してください。間違えて使用した場合、組み合わせた装置の故障や誤動作、周辺機器の誤動作などの恐れがあります。

2. 構成

構成を表 2 に示します。不足品がないか確認してください。

表 2 構成

No.	構成	数量	備考
1	本体	1 台	
2	取扱説明書	1 枚	(本書)
3	保証書	1 枚	
4	端子台カバー	1 個	(端子台に装着済み)

3. 電源および環境条件

電源および環境条件を表 3 に示します。

表 3 電源および環境条件

No.	項目	条件	備考
1	動作時温度 / 非動作時温度	0 ~ 50 / -20 ~ 60	実際に使用する際には本製品を装着する適用機器の仕様に従うこと。
2	動作時湿度 / 非動作時湿度	10 ~ 90% / 10 ~ 90%	結露なきこと。
3	入力電圧範囲	DC-57 ~ -40V (-48V typ.)	

4. 設置および接続

4.1 ユニットの装着

本体を設置後、運転を開始する前に、本体の電源スロットに電源ユニットを装着してください。図 1 に電源ユニットの各部の名称を示します。なお、接続に必要な FAN や各種表示は省略しています。

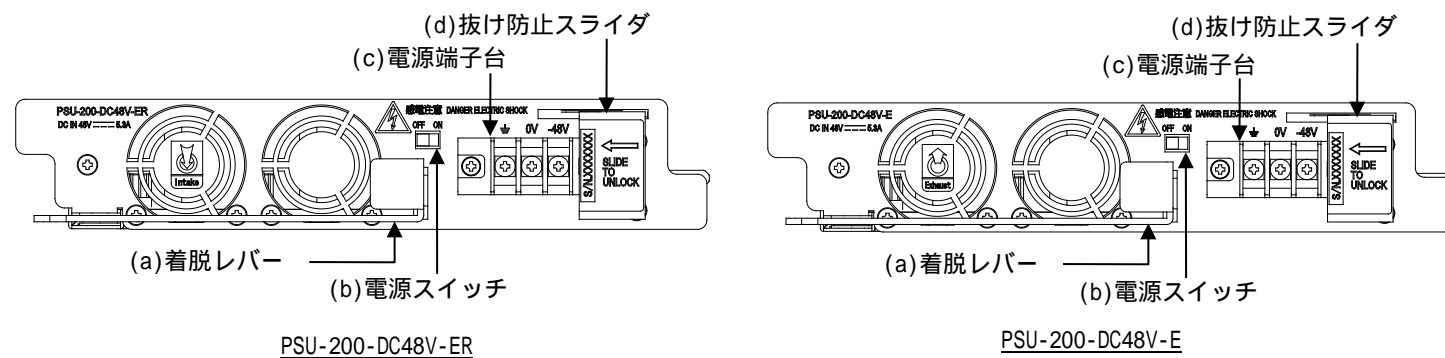
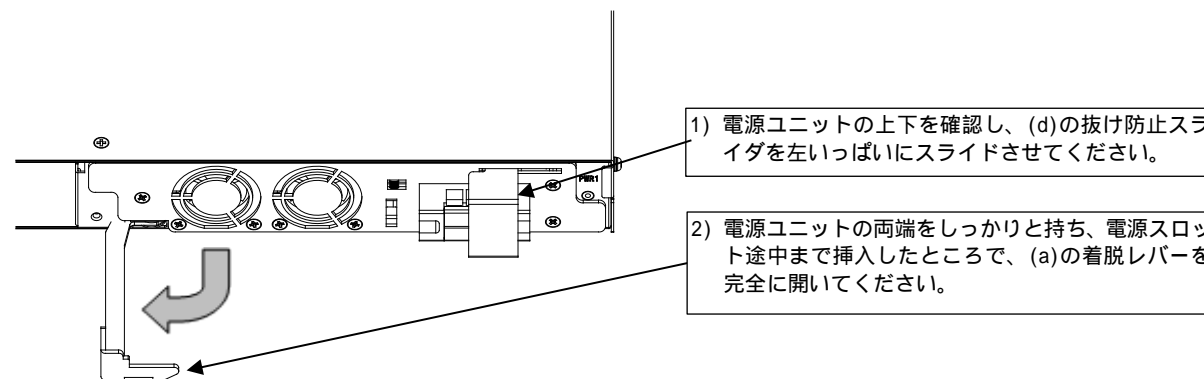


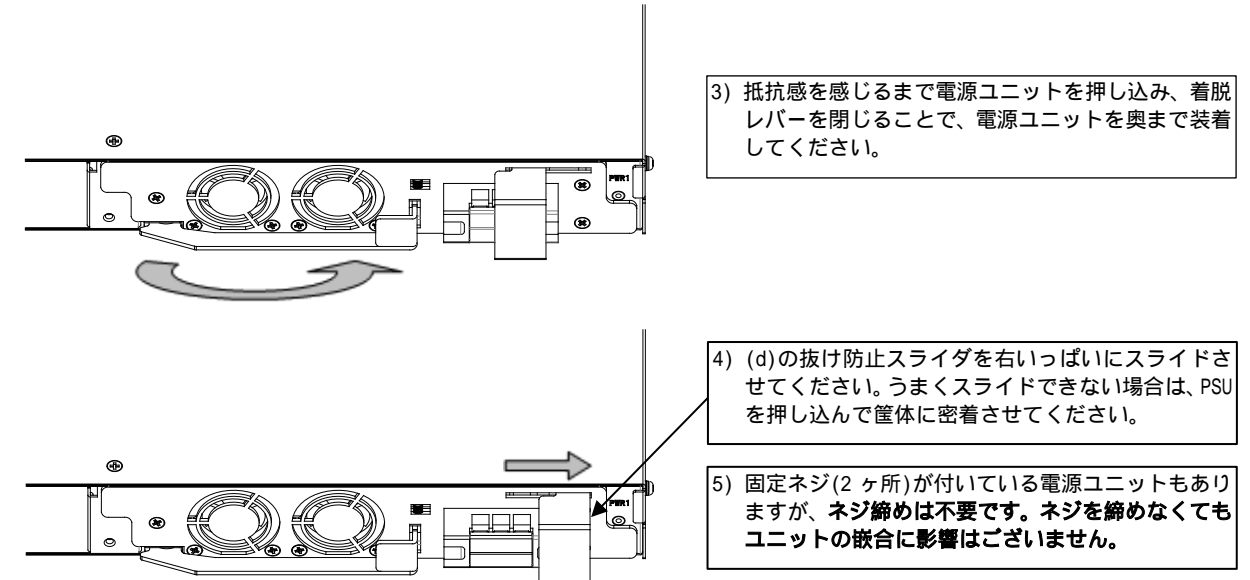
図 1 ユニットの各部の名称

電源ユニットの装着は、必ず以下の手順で行ってください。



1) 電源ユニットの上下を確認し、(d)の抜け防止スライダを左いっぽいにスライドさせてください。

2) 電源ユニットの両端をしっかりと持ち、電源スロット途中まで挿入したところで、(a)の着脱レバーを完全に開いてください。



3) 抵抗を感じるまで電源ユニットを押し込み、着脱レバーを閉じることで、電源ユニットを奥まで装着してください。

4) (d)の抜け防止スライダを右いっぽいにスライドさせてください。うまくスライドできない場合は、PSUを押し込んで筐体に密着させてください。

5) 固定ネジ(2ヶ所)が付いている電源ユニットもありますが、ネジ締めは不要です。ネジを締めなくてもユニットの嵌合に影響はございません。

⚠ 注意

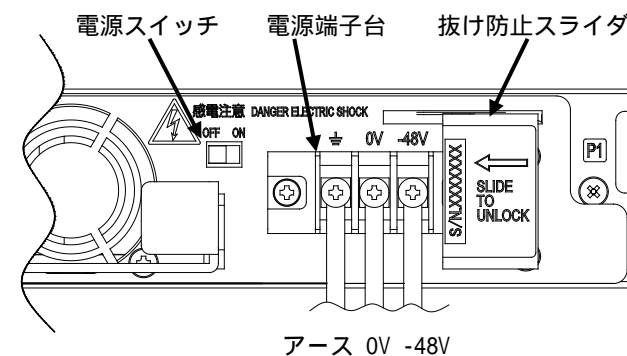
ユニットの上下は正しく装着してください。ユニットの上下を間違えて挿入した場合、途中で強い抵抗感がありますので、それ以上無理に押し込もうとせず、ユニットを一旦引き抜いてから上下を確認して、再度挿入してください。ユニットの上下については、図 1 で確認してください。ユニットの上下を逆にして装着しようとすると、本体およびユニットの故障の原因となります。

⚠ 注意

固定ネジ(2ヶ所)が付いた電源ユニットもありますが、ネジ締めは不要です。ネジを締めなくてもユニットの嵌合に影響はございません。固定ネジを無理にねじ込んだ場合、固定ネジを破壊するおそれがあります。

4.2 電源の接続

最初に電源ユニットが正しく装着されていることを確認してください。次に、DC 電源供給側の電圧出力を停止、電源ユニットの電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、電源ケーブルを電源ユニットの端子台に接続してください。図 2 に DC 電源の接続方法を示します。



- DC 電源供給側の電圧出力を停止、電源ユニットの電源スイッチが「OFF」になっていることを確認して下さい。
- 抜け防止スライダを右側にスライドさせて開いてください。抜け防止スライダが開かない場合は DC 電源ユニットの装着をやりなおして下さい。
- 端子台カバーを外し、電源ケーブルを DC 電源ユニットの端子台に接続して下さい。
・圧着端子のサイズ：M3 ・締付トルク(推奨値)：0.7N・m (7.5Kgf・cm)
・電源ケーブルの太さ：AWG18 以上
- 端子台カバーを取付けてください。
- DC 電源供給側の電圧出力を開始してください。
- 電源ユニットの電源スイッチを「ON」にしてください。

図 2 DC 電源の接続方法

5. 運転の停止と電源ユニットの取外し

以下の手順に従って、電源ユニットを取り外します。誤った順序での操作は、故障の原因となりますので操作前にご確認ください。

- 電源ユニットの電源スイッチを「OFF」にしてください。
- DC 電源供給側の電圧出力を停止してください。
- 電源ユニットの電源端子台から端子台カバーを取外しの上、電源ケーブルを取り外してください。
- 電源ユニットの抜け防止スライダを左側いっぽいにスライドさせてください。
- 電源ユニットの着脱レバーを最初少し上に持ち上げてから、手前に引き、完全に開いた状態にしてください。
- 両手で電源ユニットをしっかりと持ち、電源スロットから引き抜いてください。